

快適商空間の創造を目指して



西垣 博志 (にしがき ひろし)

富士電機リテイルシステムズ株式会社
取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

富士電機リテイルシステムズ株式会社は、「快適商空間の創造」をモットーとして、流通業向けに自動販売機、フードサービス、コールドチェーン、通貨機器などの製品とサービスを提供しております。

これらの製品やサービスにおいて、機能、品質、価格、納期のすべてに最高のパフォーマンスを提供してきましたが、加えて省エネルギーや環境保護など、持続可能な社会の実現のための技術力の向上と製品の開発に注力してまいりました。

業界トップシェアを持つ自動販売機においては、ノンフロン化技術やヒートポンプ技術などの環境対応・省エネルギー技術を適用した製品を提供するにとどまらず、生産時における環境負荷の削減への取り組みなどを進めてきました。さらに、“食の安全・安心”にかかわるメーカーの一員として、自動販売機では初めてとなる賞味期限の監視を簡単な操作で実現しております。

カップ自動販売機においては、自然冷媒を適用すると同時に、省エネルギー性を飛躍的に向上した超小型カップ自動販売機を開発し、市場へ投入いたしました。さらに、この開発で培った技術をベースに、飲食業界向けにコーヒーディスペンサーの市場への展開を進めています。

当社は、進化した小売り手段である自動販売機に関して、機能・品質・価格・メンテナンスサービスなどすべての面で課題解決に取り組み、顧客から最高の評価をいただき、この業界における地位をよりいっそう強固にしていきたいと考えています。

コールドチェーン分野では、当社はSTPP（ストアトータルブランプロデュース）というコンセプトのもと、店舗の設計、内装、設備、施工から保守サービスに至る総合

的な商空間ソリューションを提供しております。この分野においても環境への対応を目指し、空調と整合する冷媒を用いたショーケースの開発に着手し、現在フィールド試験を行い、その省エネルギー性の検証を行っております。また新しい取組みとして、冷凍商品自動配送センター向けに冷凍商品に適応した温度帯を実現した業界初の冷凍フロアラックを開発し、現在、フィールド試験を進め所期の目標を達成できることを確認いたしました。

通貨機器関連分野では、自動つり銭機や非接触ICカード、携帯電話を用いた電子マネーの市場が、今後も大きく拡大していくものと予想されております。

当社では、小型・コンパクトで庫内在高計数機能を搭載したスーパーマーケット向け自動つり銭機の開発、製品化を行い、市場から高い評価をいただいております。

電子マネーにおいては、利便性の追求と同時に安全で信頼性の高い技術が要求されます。電子マネーの方式にはプリペイドとポストペイの二つがあり、これらを用いた多数のブランドが存在しております。このようなさまざまなブランドの電子マネーの普及に伴って、複数のブランドを一つの端末で取り扱う技術が要求されています。当社は、このマルチブランド化に対応する端末機器の開発を完了し、現在、市場への展開を進めております。ここでは当社がこれまでに培ってきたリードライト技術や決済にかかわるセキュリティ技術、通信技術を活用しています。

以上、事業分野ごとに近況を述べてまいりました。今後は、快適商空間を実現する開発に加えて、それを支える基盤技術の強化にも注力していきます。あらゆる面において顧客の期待に応え、持続可能な社会の実現に貢献する会社を目指していきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。